

おおがわら

議会だより



第158号

令和3年2月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



1月8日
陶芸教室
(第二光の子保育園)
関連記事 P20

大中体育館建替えへ……………	②③
議案審議(11月・12月)……………	④⑤
町政への提言……………	⑥
委員会活動……………	⑬
全員協議会……………	⑱
町民の声……………	⑲

特集

大河原中学校 体育館 建替えへ

工事費 約9億9420万円

令和3年3月から工事開始予定



イメージ図

事業の概要

令和4年4月供用開始
昭和39年に建設された大河原中学校体育館（以下、大中体育館）は、老朽化が激しいため、国の補助金「国土強靱化事業（危険改築事業）」を活用して、同一敷地内（校舎前）へ新しく建て替えられることとなった。
令和2年12月2日の全員協議会で詳細が説明された。

新しい大中体育館は、災害時の避難所施設でもあることから、防災機能をもった施設となる。

階数 地上一部2階建て

構造 鉄骨造

規模 延床面積2088㎡

諸室 屋内運動場アリーナ・ステージ・卓球スペース

バスケットコート2面・バレーボールコート2面・バド

ミントンコート6面・インドアソフトテニスコート2面・卓球

スペース8台分

部室・トイレ・シャワールーム・放送室・ミーティングルーム・湯沸

かし室・体育用具室・倉庫

屋外環境整備

部室兼防災備蓄倉庫・太陽光パネル・新テニスコート場・屋外

トイレ・駐車場（校舎前・校舎裏）

整備方針

- ① 学校活動等に支障がないよう、既存の体育館を使用しながら建設する。
- ② 新体育館整備後は既存の体育館を解体し、跡地は将来の校舎建て替え用地として確保される。

防災・災害対策

- 災害が発生した場合に、住民がより安全に避難できるような避難所として整備される。
- 体育館フロアを想定浸水深より高く整備。
- 停電時に備えて、太陽光パネルや蓄電池を設置。
- 隣接地に部室兼防災備蓄倉庫を整備。
- 避難想定収容人数700人程度。
（密を回避した場合350人程度）

議員からの意見

12月2日に開催された全員協議会では、議員からも様々な意見・要望が出された。

須藤 以前の社会体育倉庫は解体されたが、それに代わる施設はどうするのか。

岡崎 社会体育倉庫の解体によって、自転車置き場の片隅に石灰やラインカーが置かれており、雨が降ると管理が大変。

堀江 今までは石油ストーブでしいていたが、新体育館の空調関係はどうなっているか。

大沼 校舎への陽当たりの変化が心配されるが、きちんと検討されたか。

万波 検討委員会での協議内容や経過を示してほしい。

概算工事費

- 調査費・設計費 1500万円
- 建設費 8億7320万円
- 新テニスコート場整備工事 3900万円
- 屋外トイレ整備工事 1100万円
- 外構整備設計費 300万円
- 外構工事費（駐車場） 2400万円
- その他備品等 300万円

財源内訳

- 国庫補助金額 1億4888万円
- 学校施設整備事業費 6億8860万円
- 一般財源 1億5672万円



住民説明会

12月21日（月）に大河原町役場3階にて、大中体育館建替えに関する住民説明会が行われ、約30名の町民が出席し、担当職員から事業計画についての説明があった。

出席者からは、「体育館が建設されると校舎が見えなくなってしまう」という意見が出された。また、「正門近くにある記念樹を残してほしい」「床暖房にしてほしい」「子どもたちのために早く工事に着手してほしい」等の声も聞かれた。



12月会議

可決

同意1件
請願1件

報告1件
議案13件

一般会計補正

屋内運動場増設工事
監理業務委託料

1500万円
大河原中学校屋内運動場増設工事

4億2910万円
老朽化した大中体育館を、国の国土強靱化事業の補助金を活用し、校舎南側へ建替える。令和3年度中に完成しなければならぬ。障害者支援特別給付金

700万円
新型コロナ感染症対策として、在宅介護が必要な障がい者を支援する。対象者1人につき、1万円を給付。各種検診委託料

▲454万円
コロナの影響により、事業を中止、縮小したため減額。仙南広域行政事務組合 仙南文化振興費負担金

1031万円

老朽化によって部品供給が難しい機器の早急な更新が必要であるため、音響設備等を更新する。

ふるさと寄附金業務委託料 920万円
寄附金額の増加に伴うもの。

討論

令和2年度一般会計補正予算(第7号)

【反対】 須藤 慎

大中体育館建替えについては大賛成である。しかし、今回は「消去法」で場所が決められ、校舎前に体育館を建設するというもの。仙南の雄・大中の素晴らしい景観をなせ壊そうとするのか理解できない。部室も校舎裏に移るようであるが、生徒を防犯カメラで監視すること等、全く議論が尽くされておらず、議会への説明も不十分である。補助金を使うことは当

然だが、もっと時間をかけ、より良い場所に、より良い体育館を建設すべき。

【賛成】 大沼 忠弘

今回提案された補正は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援策や、大中体育館増設事業といった重要案件を含むもの。大中体育館建設候補地については、もう少し丁寧な説明が必要だったと考えるが、本事業は国の補助金を活用しており、令和3年度中に完成しなければならぬ。今後もあり良い施設となるよう提言しながら、期限内の完成を支援するのが議会としての使命。

【賛成】 万波 孝子

大中体育館の建替えに関する予算計上は、候補地を現在のテニスコート地としているが、妥当であると考える。

他に旧給食センター跡地という案もあったが、施設面積が足りないうえに水道管や雨水排水管の移設工事も必要となり、町の財政負担がより大きくなる。また、将来の新校舎建設地に、現体育館跡地が視野に入ることと考えれば、町の提案は町民の納得を得られると考える。

【賛成】 岡崎 隆

議案上程前に、詳細な審議の場をもつと設けるべきではなかった。体育館がどこに建設されても、そこで学ぶ生徒の豊かな志があれば「仙南の雄 大中」が損なわれることはないという教育長答弁に賛同する。今後、近くの集会所や消防ポンプ小屋などの複合化を検討されることを申し添える。

特別・企業会計補正

後期高齢者医療特別会計 33万円
国民健康保険特別会計 401万円
介護保険特別会計 511万円
仙南夜間初期急患センター事業特別会計 ▲221万円
水道事業会計 814万6000円
(いずれも全会一致で可決)

条例制定

大河原町議会議員及び大河原町長の選挙における公費負担に関する条例

公職選挙法改正に伴い、供託金制度を導入するほか、選挙運動用自動車、選挙運動用ボスター等が公費負担の対象となった。(全会一致で可決)

条例改正

大河原町地域経済牽引事業を促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例引用先の改正による。大河原町国民健康保険条例

国民健康保険税の減額に係る所得基準の見直しによる。(いずれも全会一致で可決)

指定管理者の指定

大河原町福祉作業所さくら
指定する団体 社会福祉法人 大河原町社会福祉協議会
大河原町駅前コミュニティセンター及び大河原駅前立体駐車場
指定する団体 株式会社 社まちづくりオーガ
大河原町体育施設(総合体育館・テニスコート・多目的広場・東部



新たに体育施設の指定管理に加わる東部屋内運動場

多目的広場・東部

契約

物品購入契約の締結(教員授業用タブレット)

生徒用は9月会議にて議決し契約済み。今回は教員用として、生徒と同様のものを購入。(全会一致で可決)

契約

工事請負契約の変更(金ヶ瀬小学校トイレ改修工事)
洋式便座に温水洗浄機能を追加する。変更前の契約金額 5791万5000円
変更後の契約金額

請願

6176万3900円
障がい者が安心して働くことができる就労事業所の拡充、安心して暮らせる共同生活援助(グループホーム)拡充に関する請願

請願者 みやぎ県南の福祉と生活を考える会
要旨 障がい者にとって、将来訪れる親なき

人事

教育委員会委員の任命
舟山 幸枝氏
(全会一致で可決)

11月会議

契約

工事請負契約の変更(大河原南小学校トイレ改修工事)
体育館への多目的トイレの設置や温水洗浄機能の追加変更を行う。

条例改正

変更前の契約金額 8140万円
変更後の契約金額 9354万4000円
町長等の給与に関する条例
職員給与に関する条例
人事院勧告に従い、町長と職員の期末手当を0.05か月分減額
(全会一致で可決)

議決月日	議決結果	議決結果												
		高橋 豊	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	佐藤 巖	庄司 充	万波 孝子	秋山 剛	佐藤 貴久	
12/10	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第73号 令和2年度大河原町一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除席 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

- 高橋 芳男 P ⑦
 - マイナンバー制度を利用したワンストップサービスの充実を
 - 発達障がい者のサポートについて
 - 不妊治療の助成金の周知・活用を
- 万波 孝子 P ⑧
 - 「第3波」コロナウイルス感染症対策について
 - 「女川再稼働」は県民の総意か
- 須藤 慎 P ⑨
 - 大河原中学校体育館の建替えについて
 - 学校給食費の公会計化について
 - 町長選挙における投票率等、及び選挙書類等について
- 佐久間 克明 P ⑩
 - 交通安全対策について
 - 大河原町をPRする「さくらっきー」について
 - ※ 選挙投票所について
- 庄司 充 P ⑪
 - 学校教育と防災
- 大沼 忠弘 P ⑫
 - 商業振興について
 - フードドライブについて
 - 大河原出身者の帰郷定住について
 - ※ 選挙投票所の開設場所について
 - ※ 学生消防団員認証制度の推進について
- 岡崎 隆 P ⑬
 - 町長の公約に基づく政治姿勢を問う
- 丸山 勝利 P ⑭
 - 町長選挙と町議会議員補欠選挙について
- 山崎 剛 P ⑮
 - 高齢者のインフルエンザ予防接種費用の全額助成を
- 高橋 豊 P ⑯
 - 所有者不明猫対策について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。内容は、大河原町議会ホームページ内の「中継・録画映像」で視聴できます。(https://www.town.ogawara.miyagi.jp)



まずは普及促進を図る



皆さんは持っていますか

高橋 政府は2023年3月末までに、ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを目指すとしている。マイナンバーカードの利用法のひとつとして「マイナンバー」というウェブサービスがある。スマホで

も利用でき、マイナンバーカードを読み取りたりパスワードを入力したりすることで各種申請手続きが可能だが、わが町でもマイナンバーカードのサービスの充実に取り組みはできていないか。

町長 本町のマイナンバーカード交付件数は4835件、交付率は20・39%（11月29日時点）である。今後も「マイナンバー」の利用状況を確認しながら、利用法の検討やカードの普及促進を図る。

町長 各学校に特別支援コーディネーター等を委員とする「特別支援教育連携協議会」と「特別支援教育コーディネーター等連絡委員会」を設置し、合同での研修会を年2回開催している。

マイナンバーカード

サービスの充実を



高橋 芳男

発達障がい者のサポート

高橋 改正発達障害者支援法では、発達障がい者の専門知識を持つ人材の確保と、研修の実施が義務付けられた。

高橋 不妊治療助成金制度の利用状況は、平成21年の時点では、7万8000人となっている。

町長 これらの周知にについては、町ホームページの「くらしの情報」(妊娠・出産)の項目へ掲載しているが、広報おおがら「おしらせばん」等を活用するなど、引き続き様々な機会を生かし、周知に努めたい。

一般質問

女川原発再稼働

知事は同意、町長は

本意は中立的立場である



万波 孝子

福島では、今も故郷に帰れない避難民が約3万7000人。風評被害や汚染水の海洋放出問題等、未解決課題も山積している。福島原発事故の教訓は「安全神話」が完全に崩れたことである。震災時、女川原発は外部電源5系統のうち4系統が遮断。火災発生や原子炉建屋の浸水など、重大事故になりかねない事態だった。

万波 福島の現状をどうみているか。

町長 安全神話が崩れたという認識は持っている。10年が経過する現在でも様々な課題が残されており、重く受け止めている。

万波 市町村長会議で再稼働賛成の立場を示したようだが、町民の声を代表してどう行動なのか。

町長 「積極的に賛成する方は誰もいない」と前置きしたうえで、地元事情も考慮すれば、女川町・石巻市両議会の意思と県議会の判断を尊重すべきと発言した。賛成というよりは、中立的立場。

万波 世論調査では6割以上が反対だが、再稼働の是非を問う住民投票案は県議会で2回否決されている。県がためなら、町民の意思確認のため

町長 検討委員会では、建設場所の議論はしていないと聞いている。校舎前への建設が前提で、縦に建てるのか、横に建てるのか、という議論しかしていないのではないかと。教育総務課長を基本に考えて話をした。

に町主導での住民投票実施を望むが。

町長 町が主導しての住民投票は、制度的になじまない。「第3波」コロナ対策さらなる強化を

万波 感染予防対策を強化すべき。

町長 再度、対策の徹底と感染者への差別など人権侵害防止の啓発に努める。

万波 医療崩壊は食い止めなければならない。

中核病院スタッフのPCR検査が必要ではないか。

町長 院内の感染対策が徹底されており、必要ないと伺っている。

万波 巨理郡に地域外来・検査センターが設置された。柴田郡でも必要ではないか。

町長 かかりつけ医療等の身近な医療機関の一部が、検査協力



10年経っても解決されていない

校舎前への建設は反対

総合的に妥当と判断



「仙南の雄 大中」のロケーションが一変してしまいます

須藤 校舎前への建設ありきで進められているのか。

教員 大規模事業評価委員会、大河原中学校、関係団体、検討委員会での意見等

をいただきながら議論した。国の補助金「国土強靱化事業」を活用しての事業で、総合的に判断した結果、校舎前に建設するのが妥当であると判断した。

検討委員会では、建設場所の議論はしていないと聞いている。校舎前への建設が前提で、縦に建てるのか、横に建てるのか、という議論しかしていないのではないかと。教育総務課長を基本に考えて話をした。

校舎前に建てることに「反対」の意見も多く耳にするが、その声は担当課に届いていないのか。

教員 これまでの会議の中では聞いていない。

須藤 部室が校舎裏になることで、生徒指導上の問題も多く出ると考える。

防犯カメラでの監視も可能なので、特に支障はないと考えている。

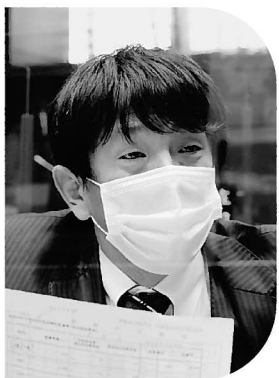
須藤 建設場所について、再度議論すべき。

教員 パブリックコメントや住民説明会で丁寧に説明している。この中で、ご理解を願う。

医療機関に位置付けられた。発熱患者の診療、検査にあたるもので、既に実施されている。

万波 他市町では、子育て世帯の国保税減免や事業者への支援金等、今後の対策を具体化している。本町の支援策とは。

町長 国からの交付金があり、内容はこれから検討する。



須藤 慎

防犯カメラでの監視も可能なので、特に支障はないと考えている。

須藤 建設場所について、再度議論すべき。

教員 パブリックコメントや住民説明会で丁寧に説明している。この中で、ご理解を願う。

医療機関に位置付けられた。発熱患者の診療、検査にあたるもので、既に実施されている。

万波 他市町では、子育て世帯の国保税減免や事業者への支援金等、今後の対策を具体化している。本町の支援策とは。

町長 国からの交付金があり、内容はこれから検討する。

大中体育館 建替え

防災教育

学校独自の防災マップは

町のものを活用



庄司 充

東日本大震災以来の宮城県は、天災や人災による幾多の災害に見舞われ、さらに昨年2月に発生した新型コロナウイルスの猛威は、

私たちの生活に不安と恐怖を与えた。その中にあるのは、いつも犠牲者となるのは、高齢者や子どもたちである。子どもたちの命を確実に



家庭でも話し合おう

数回の避難訓練等を実施しており、各学級において、防災教育副読本等を活用して各教科と関連づけながら、児童生徒の意識を高め

守る防災体制の構築に向け、平穏な時こそ、学校防災の知識と意識を訓練しなければならぬと感じる。

私が町では、どのような意識のもとで防災教育が行われているのか。

学校周辺の地形や地域の実情を踏まえた、学校独自の防災マップの必要性を、もう一度考え直すべきではないか。

現在の小中学校に、独自の防災マップはあるか。それを活用した防災教育は行われているか。

学校独自の防災マップはないが、町で作成している防災マップを全学校に配布し、学校や自宅周辺の状況を確認するなどして、安全かつ迅速な避難行動ができるような教育活動を行っている。

町の大サードマップを最大限に活用して、洪水や防災等に備えたい。

東日本大震災などの影響で不登校となった児童生徒をサポートする「みやぎ子ども心のケアハウス」が本年度で事業期間を終了する。事業の重要性と今後の必要性をどう考えているか。

県教育委員会で、11月4日に石巻市大川小学校にて、新任校長を対象とした防災研修会を実施した。また、県総合学習センターでも、新任教頭など防災教育の核となる教員を対象に研修会を実施し、防災に対する資質・能力を高めている。

現場で総合指揮をとる教頭、教職員等に対する防災知識の講習

来年度以降も必要だと認識しており、今後も継続する。

交通安全対策

一般質問

小中学生に反射材を



佐久間克明

配布を検討する

本町では「夕方早めのライトオン運動」を実施している。また、交通死亡事故ゼロの記録も続いている。ドライバー側も高齢者が多く、年末となれば年代問わず事故につながる確率も一層増える。車を運転する側の視点から、改善の必要性を感じる。

導方法を示してほしい。各小中学校で年度初めに交通安全教室を実施し、実技指導を受けている。また、教職員が交差点等に立ち、街頭指導も実施。

配布を行い、反射材の着用を推進している。本町では、学生服への反射素材の使用等を、定期的に検討しているか。

「さくらつぎ」は、10年間続いたゆプリが、本年度終了し

た。「さくらつぎ」は全国13位、東北では2位。今後、更に知名度アップに活かすために、町立桜保育所や小中学校の入学式・卒業式に、来賓として招待してはどうか。

各施設で同時期に開催されることが多く、掛け持ちが難しい。また、「式典」という目的に沿ったかたちで出席させるには、

学校と協議が必要。楽しい行事やイベントでの活用を考える。

来年度以降も「さくらつぎ」柄の食器を使用するべき。



反射材で夜間の安全確保 (写真は反射素材を使用した「リフレクターボタン」)

一般質問

商業振興

起業、創業の手助けを

既存事業者支援に注力



大沼 忠弘

にいる環境で仕事をしながら暮らしていくことが可能な世の中になりつつあるのではないかと。移住、定住者を増やすうえで、他所からの移住者はもちろん大歓迎であるが、元々大河原で育ちながらも、一旦町を離れた大河原出身者に里帰りしてもらう施策が、移住者をより増やすことにつながるのではないかと。

町長 本町出身者の帰郷は、賑わいと活力あるまちの創造につながるかと考えるが、現在、県とともに推進している「みやぎ移住フェア」や移住支援策でのPRを図り、移住希望者への支援を充実させたい。今後も、国や県の動向を注視しながら、移住施策を推進する。

大沼 町では起業創業の後押しをしているが、コロナ禍がそれを妨げている。その際の手助けとなる制度に「チャレンジショップ」がある。空き家店舗対策の一環として、行政や商工会などが中心となり低額で店舗を貸し出す制度だが、この制度に取り組み考えは。

町長 コロナ禍にあり、既存事業者支援に注力している。

大沼 商工会ホームページを見ると、準備中のままの欄がある。販売や契約につながるよう、記載を充実させて加入業者支援に活かすべき。

町長 商工会に助言するとともに、情報共有をしたい。

フードドライブ運営 フードドライブとは、家庭で消費しきれない食品を持ち寄り、福祉施設や子ども食堂、フ

ードバンクなどに寄付することで、社会貢献と食品ロス削減につながるものである。

大沼 フードドライブに取り組み考えは。

町長 町社会福祉協議会がフードバンクを実施している。令和2年8月からはフードバンドリートとして、生活困窮などの事情がある子育て世帯に、無料食料を配付している。これらの取り組み

は、フードドライブと同様の成果が得られると考えている。

大河原出身者の帰郷定住

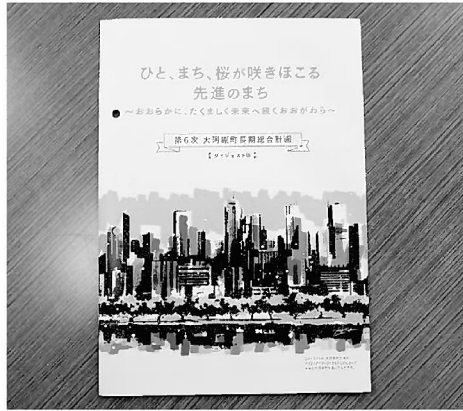
大沼 大河原で育った人間が、大河原の素晴らしさを誰よりも理解していることは言うまでもない。コロナ禍がきっかけとなり、これまでの就業形態が大きな変容を遂げた。生活拠点を故郷へ戻し、親や昔からの友人が傍



いつまで続く準備中

実現に向け必要なことは

社会像の把握、具体化



コロナ禍で優先順位をどうつけるのか

昨年10月に当選を果たした町長の公約実現・課題解決に向けた政治姿勢は。

岡崎 第5次・第6次長期総合計画にも謳っているが、命と暮らしを守る第一である。行政区の改編が

岡崎 その回答は、やらないと受け止めて良いのか。世帯数や区域などで目安を設定してはどうか。それを大きく超えるような行政区には副区をつくり、行政区長の加配や

進んでいない。人口動態が大きく変化し、多くの行政区で「コミュニティ形成に苦慮している。いざという時の声掛けができない状態を、いつまで放置するのが、自主防災組織が行政区を単位として構成されていることもあり、課題等を整理しながら慎重に進めていく。

町長 指標づくりなどは、検討課題とする。

岡崎 コロナ禍で、ひとり親家庭の貧困問題は深刻である。子どもの人権も含めて、将来に夢や希望を持てる環境づくりが大切ではないかと。

町長 保育所や放課後児童クラブなど、これまで構築された資源を最大限に活用し、ひとり親家庭を支援していく。

役員増員等の指導を図るなど、分区という形で新たな行政区を生み出すような、町の積極的な関わり方が必要。何度も提言しているが、逃げ腰ではないかと。

町長 指標づくりなどは、検討課題とする。

岡崎 コロナ禍で、ひとり親家庭の貧困問題は深刻である。子どもの人権も含めて、将来に夢や希望を持てる環境づくりが大切ではないかと。

町長 保育所や放課後児童クラブなど、これまで構築された資源を最大限に活用し、ひとり親家庭を支援していく。

が大大幅減となるが、今後も継続できるのか。事業は継続する。まだ、県からのかなりの補助を受けられるのか。子どもたちに支援が十分にいき届くように検討したい。

岡崎 当初、この事業には県内35市町村中8市町が手を挙げた。その中でも大河原町は、この事業を骨太に進め、子どもたちの大きな支えとなってきた。ケアハウスには、今も夢に向かって勉強に励む子どもたちがいる。予算の執行権を持つ町長は、この事業についてどう考えているか。

町長 この事業の意義を十分に認識したうえで、しっかりと取り組む。



岡崎 隆

岡崎 不登校の児童生徒への支援として、平成28年から取り組まれている「こどもの心のケアハウス」事業について、県補助金

一般質問

投票所

選挙経費削減し増設を

増やす考えはない



丸山 勝利

町長 選挙管理委員会に関わることで、具体的な話は控える。

丸山 車や自転車を持ち、移動手段を持たない高齢者も多い。そのうえ、土日はデマンドタクシーも運行していない。やはり、投票所を増やす必要があるのではないか。

総務課長 期日前投票で4票を済ませている地区がある。また、高齢者や障がい者の方は、期日前投票のほうに、その日の体調や都合に合わせて対応できるというところもある。今後は、まず期日前投票の活用を考えたい。

町長選挙と町議会議員選挙について一は平成30年9月議会でも一般質問したが、昨年10月の町長選挙に合わせ、町議会議員の欠員の補欠選挙も執行されたため、改めて伺う。町議会議員の任期が今年4月30日までのため、補欠選挙から半年後にまた選挙を行わなければならない。当然、補欠選挙にて当選した議員も、任期が前

議員の残任期間となるため、4月の一般選挙には改めて立候補しなければならず、半年間に2回選挙をするようになる。また、本町も少子化による人口減少を避けては通れない状況下で、行財政改革が必須となっている。議会としても、行政に対して今まで以上に改革推進の提言が必要になる中で、議会側も身を切る

改革が必要と考える。**丸山** 昨年10月の町長選挙と町議会議員補欠選挙に関して、それぞれに要した選挙費用はいくらか。**町長** 町長選挙の費用は約1065万円。町議会議員補欠選挙は約194万円。**丸山** 今年4月の町議会議員選挙では、コロナ禍の中で「3密」を避けるためにも、投票所を増やしてはどうか。

町長 現時点で投票所を増やす考えはない。投票所での感染対策をさらに強化していく。**丸山** 今年4月の町議会議員選挙には、また1000万円ほどの選挙費用が必要となってしまう。議会の解散は議会側の問題だが、同日選挙にして削減できた費用で、投票所を増やすということについて、町長の考えは、



より身近な場所で

高齢者・障がい者は無償に

今後も助成を継続

全世界で爆発的に流行している新型コロナウイルス。我が国でも感染拡大が深刻になっており、一向に終息の兆しは見えない状況に



注意するのは「コロナ」だけじゃない

ある。今年はコロナ禍にインフルエンザも加わり、Wパンチを浴びる季節がやってくるようである。**山崎** 神奈川県藤沢市や近

隣の村田町では、65歳以上の方はインフルエンザ予防接種費用が全額助成されるとの報道があった。新型コロナウイルスとの同時流行の防止策として、各自治体で積極的な接種を呼び掛けている。本町でも、コロナ禍で仕事が減り、生活に苦慮している方も増えている。特に、一人暮らしをしている方、年金生活の方は暮らしにくいと嘆いている。**山崎** 65歳以上の方のインフルエンザ予防接種費用の自己負担1500円を無償にする考えはないか。

町長 コロナ禍の中で、秋から冬にかけて新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行、重症化が危惧されている。医療機関への負担を減らし、医療崩壊を未然に防ぐ観点からも、重症化リスクが高いとされる高齢者や乳幼児、妊婦等に対し、早めにインフルエンザワクチンを接種するよう呼び掛けている。

本町では、毎年インフルエンザの流行時期に合わせて、高齢者に対するインフルエンザ予防接種費用の助成を行っており、通常は5500円のうち4000円を助成、1500円を自己負担としている。今後も助成を継続する。

町長 今年、感染リスクが高まるといわれている重度の障害をお持ちの方や妊婦の方にも対象を拡大し、全額助成している。なお、対象者については、「身体障害者手帳1級」に加え、「身体障害者手帳2級及び3級の一部」「療育手帳A」「特別児童扶養手当障害程度1級」及び「精神障害者保健福祉手帳1級」をお持ちの方約460人で、このうち約280人が65歳以上の高齢者となっている。

インフルエンザワクチン



山崎 剛

山崎 身体障害者手帳1級以外の方のインフルエンザ予防接種費用を無償にする考

一般質問

所有者不明猫

無料不妊手術事業の活用を

機運の醸成が不可欠



高橋 豊

町長 猫の飼い方は、広報等で周知をしているほか、オウムフェスティバル開催時に宮城県獣医師会や動物愛護推進員によるペット相談コーナーを開設して、適正飼養及び去勢手術事業の啓発事業を行っている。さくらねこ無料不妊手術事業は、猫への餌やりや見守りなど地区住民による長時間の活動が必要であり、この事業に取り組む機運の醸成が不可欠である。事業の周知を図るとともに、仙南保健福祉事務所と連携し、地域住民の協力を得ながら、所有者不明猫のトラブルに対応する。

近年、都市化に伴う住宅の過密化を背景として、所有者不明猫による生活環境被害などが社会的な問題となっている。「動物の愛護及び管理に関する法律」では、すべての人が「動物は命あるもの」と認識し、みだりに動物を虐待することのないようにするだけでなく、人と動物が共に生きていける社会を目指し、動物の習性をよく知

たうえで適正に取り扱うことを基本原則に定めている。本町における所有者不明猫問題の取り組みについて、次の通り質問する。

高橋 本町における、昨年度の所有者不明猫に関する苦情の件数、その内容について、また、殺処分は何か。

町長 苦情件数は2件。内容は、鳴き声やふんによるもの。殺

処分は平成29年度に5件あったが、その後は0件である。

高橋 所有者不明猫も元々は飼われていた猫が捨てられたり、逃げ出したりした猫である。これ以上不幸な命を増やさないためには、不妊去勢手術をすることが重要である。（公社）どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」には、行政枠がある。本

町でも取り組むべきと考える。

また、猫トラブルを解決するために「地域猫活動」と呼ばれる取り組みが注目されている。地域の理解のもと、所有者不明猫の不妊去勢手術を行うとともに、地域の住民等の有志により、所有者不明猫の数とトラブルを減らしていく取り組みである。本町でも取り組むべきと考えるがどうか。



不幸な猫を増やさない取り組みを

委員会活動

総務産業常任委員会

白石川右岸河川敷整備事業
平成29年度

検討案を作成、県とのコラボ事業として進める。

令和元年度

検討委員会の立ち上げ、白石川右岸河川敷整備事業案の作成と自転車歩行者専用道の実設計。（宮城県市町村振興総合補助金を活用）

現在（令和2年10月時点）

基本計画案との整合性を図り、県が国土強靱化計画の補助を活用し造成が始まっている。また、町職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、河川敷の具体的な活用や資金調達について検討し、事業化に向け調整中。



人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望

シルバー人材センターから提出された要請書について協議した。町は今年度も法定以上の補助金を出し、倉庫を建てるなどしているが、シルバー人材センターも新型コロナウイルスの影響を受けており、町として今後も優先的に利用するよう、商工観光課長に要望。

文教厚生常任委員会

新小規模保育所の概要

小規模保育所とは、0歳児から2歳児までの子どもを対象で、6人以上19人以下の定員で運営する施設。3形態あり、A型は全員が有資格者、B型は半分が有資格者、C型は全員が無資格者（保育ママ）である。

現在、町内に小規模保育所A型は2か所設置されている。令和3年4月1日に、次の2か所（ともにA型）が開園予定。

小規模保育所ふくふく 利用定員9人（0歳児1人、1歳児2人、2歳児各3人）
キッズフィールド大河原駅前園 利用定員12人（0歳児3人、1歳児4人、2歳児5人）

待機児童の状況（令和2年10月時点） 待機児童数9人
まとめ 初めて事業を起こす法人については、期待する反面、事業実績や運営面に不安があるので、担当課には実態を把握して対応するよう求めた。また、潜在的な待機児童がいることを念頭に、解消へ向け取り組みよう要望。新設される2施設は既に保育士を確保済みとのことだが、保育士不足で定員割れとならないよう求めた。

障がい者が安心して働くことができる就労系事業所の拡充、安心して暮らせる共同生活援助（グループホーム）拡充に関する請願書

請願者 みやぎ県南の福祉と生活を考える会

まず、請願者から、仙南2市7町の障害福祉サービスの現状や、近隣市町に比べ対応が遅れている点について説明を受けた。併せて、担当課から町の障害福祉サービスの利用状況の説明を受け、施設の現地調査を行った。

まとめ 本町の就労継続支援施設（B型）は2施設、グループホームは3施設。人口比率を考慮すると事業所、施設数ともに少なく、大河原町在住であっても町外の施設を利用せざるを得ない状況下にあると言える。さらに、障がい者の最低生活費が低すぎる。これらの理由から、本請願書は採択されるべきと判断し、12月会議に上程することとした。（審議結果は5ページ）

全員協議会

大河原町議会におけるコロナ感染者発生時の対応

議員全員の出席のもとで協議した結果、議員内に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応は次のように決定した。

○議員が濃厚接触者となり、PCR検査を受け「陽性」と判明した場合、県が発表する患者番号に合わせて、氏名をホームページで公表する。

○議員として、感染のリスクを避けて行動するよう申し合わせた。

議員及び町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

町の選挙に立候補するための環境を改善し、町長や議員のなり手不足解消を目的とする。施行日 令和2年12月12日

町議会議員選挙への供託金導入 15万円
没収点 有効投票数×議員定数(15)×10分の1

供託金とは、候補者が出馬する際に納める金銭のことで、当選を争う意思のない人などが無責任に立候補することを避けるためのもの。ある一定の得票数(没収点)がなければ、そのまま没収される。

選挙運動用自動車の使用(5日間)

一般運送契約 6万4500円
その他の契約 1万5800円

●燃料の供給 7560円
●運転手の雇用 1万2500円

※金額はいずれも1日の上限額。

選挙運動用ビラの作成 上限額 7円51銭×1600枚

選挙用ポスターの作成 上限額 15万5250円(企画費)＋5250円6銭×掲示場の数(75)

※今年4月の町議会議員選挙における立候補者1名にかかる公費負担の上限額 52万9146円

新・桜保育所整備工事の進捗

今年4月の開所に向け、着々と進められている現場を視察した。

充実の保育環境

●これまでの平屋から2階建てに。給食運搬用のリフトも設置され、2階の児童にも出来立ての給食がスムーズに届けられる。
●階段部分は吹き抜けを配し、自然の通風、換気ができる。

●面積はこれまでの保育所の約1.8倍に拡大。余裕をもった保育ができるようになる。
●厨房には1日機器が導入され、今まで以上に安全に配慮。

●0歳児、1歳児保育室に床暖房が設置される。
●屋根付きの常設プールを整備。



●駐車スペースが大幅に増加。(従来の3台から24台に)
●所庭1100㎡のほかに、低年齢児用の小所庭100㎡が設けられる。



その他、以下のことについて担当課から説明を受けた。

◆教育委員会委員の任命

◆大河原中学校校体育館増改築事業基本設計の概要(案)

◆第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画(素案)

◆高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画(素案)

※大中体育館増改築事業については、2ページと3ページに掲載。

インタビュー 町民の声

子育てや町に望むことをお聞きしました。

子育てしやすい町
リサイクルステーションを

増やして

プロフィール

坂井 佳世さん(原前区)
神奈川県横浜市出身
【家族】夫 子ども2人(2女)
4人暮らし

住んで感じたこと

気さくで親しみやすい方が多いです。地区の行事も活発で、お月見会や芋煮会などに楽しく参加させていただきました。子どもたちが外で遊ぶのが好き

一目千本桜に感動

大学生の頃までは、横浜市に住んでいました。卒業後、就職と結婚を経て最初に住んだのは、宮城県大崎市でした。観光で大河原町を訪れた時、白石川土手の一目千本桜を見て感動しました。その後、夫が仙南地域に転勤することが決まり、4年前に大河原町に引っ越ししてきました。それから毎年、一目千本桜を楽しんでいます。



なので、よく児童公園で遊ばせています。公園の数も多いように感じます。「とんとの丘」は大好きなスポットのひとつ。よく遊びに行くと、動物たちとふれ合っています。世代交流いきいきプラザ内の「子育て支援センター」も子どもと一緒に利用しています。

転入時にいただいたら

「らんらいふ」は、子育てに関する内容が充実していますし、子ども医療費が18歳まで無料というのも助かっています。また、子どもたちの学力が高いと聞いています。引っ越してくるまで分かりませんでした。大河原町は教育にも熱心に取り組んでいると思います。

転入時にいただいたら

リサイクルステーションを増やしてほしい

ごみを分別する数が多く、最初は戸惑いました。今まで住んだ地域は、ここまで細かく分かれていませんでした。ごみ袋も自由で、コンビニのビニール袋でも回収していただきました。リサイクル意識が高いのは素晴らしいと思いますが、覚えるまでは大変でした。また、捨てる量の少ないビンなどはごみに出すタイミングが難しく、家の中で一時的に保管する場所に困ります。そのためリサイクルステーションを利用しておりますが、近くにないので、設置場所をもっと増やしてほしいです。近くの公園にあつたら、子どもと遊びに行くので、便利だと思えます。

こんな町に住みたいな



大河原中学校 水井 優心さん



大河原中学校 千崎 和奏さん

私が住んでいる大河原は、自然が豊かな町です。町の象徴である一目千本桜、堤を静かに流れる白石川、冬には白鳥も訪れ、心が癒される風景が数多く存在しています。さらに美しい自然を残しているために、町民みんなが参加できる一目千本桜の手入れをするようなイベントを開催してほしいと思います。なぜなら、自然にふれあい親しみを持つことで人々の心が癒され、笑顔あふれる町になると思うからです。

私が住んでいる大河原町の良さは、安全に生活できることだと思っています。さらに、夜でも安心な町になってほしいと思います。私が以前、部活帰りに夜道を歩いていたところ、電気の切れている街灯があり、少し怖い思いをしたことがあるからです。それは、観光客だけでなく町民も危険に遭う恐れがあります。事故や事件を未然に防ぐためにも街灯を整備し、地域に包まれるような、より安全な町に住みたいです。

3月議会のお知らせ
 招集日 3月23日(水)・再開日 3月29日(火)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

頑張っている子どもたち
祝 ウィンターカップ2020
第73回 全国高校バスケットボール選手権大会出場

大槻 優歩さん (大河原中学校卒・聖和学園高校3年・錦町区在住)

バスケットボール選手であれば、誰もが出場を目指す「ウィンターカップ」が12月23日から東京体育館で開催され、宮城県代表として出場しました。一回戦で敗れはしたものの、前回ベスト4の強豪校(京都精華学園)を相手に、高校生最後の大会、堂々とした戦いぶりでした。高校卒業後も進学してバスケットボールを続けるそうです。これからの益々の活躍に期待しましょう。

今回の表紙は

今回は、1月8日に蔵王町の万風窯で行われた「第二光の子保育園の陶芸教室」です。年3回行われており、1回目はお皿、2回目は茶碗、今回が3回目でコップ作りに挑戦。のぞみ組の5歳児の皆さん、慣れた手つきで上手に作っていました。
 (須藤 慎)

編集後記

皆様は年末年始をどのようにお過ごしになられたでしょうか。今年お「新型コロナウイルス」と聞くだけで息苦しくなってしまうですが、最大限の対策を行い「正しく恐れる」ことが大切です。感染後の社会復帰に支障が出ていると言われていますが、だからこそ、物事の本質を見極める力が必要だと私は考えます。議会だより作成も同様で、皆様に愛読していただけるよう努めています。
 (佐久間克明)

編集発行責任者 議長 佐藤 貴久
議会広報常任委員 委員長 佐久間克明
 副委員長 須藤 慎
 委員 万波 孝子
 員 大沼 忠弘
 高橋 豊